

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位
専門教育科目	スクーバダイビング実習 [Scuba diving]		1
授業形態	担当教員名	実務家教員	ナンバリング
実習(集中) アクティブ・ラーニング	八板 将明		NS-S130

#### この授業に関する資格

スクーバダイビング C カード(オープンウォーター)

#### 学位授与方針(ディプロマポリシー)との関連

○	豊かな人間性(広い視野、深い思考力)		健康づくりの実践的指導能力
	食、栄養科学の専門的知識		健康生活の知識と技術の修得
	健康管理の指導技術の修得		実社会に役立つ能力
○	運動、スポーツ科学の専門的知識		社会に貢献できる実践力

#### キーワード

スクーバダイビング

#### 授業の目的と概要

スクーバダイビング指導団体(PADI)の教程に従って、安全潜水のための講義講習とプール実習を学内集中授業で受講した後、2泊3日の海洋実習を行う。教材や実習にかかる経費の負担がある(7万円程度交通費・宿泊費込み)。

#### 学習の到達目標

スクーバダイビングの知識と知識を身につけ、希望者はオープンウォーターの C カードを取得することをめざす。

回	テーマ	授業内容	AL
1	ガイダンス	ガイダンス:C カード取得に必要な書類の作成	
2	ダイビング、環境	講義講習 1:ダイビングと身体、ダイビングと環境	
3	スキンドайビング、スクーバ	講義講習 2:スキンドайビング、スクーバダイビング	
4	ダイビング、安全	講義講習 3:ダイビングと障害と症状、ダイビングと安全	
5	水中生物	講義講習 4:ダイビングの実際、水中生物、器材管理と点検	
6	スキンドайビング	プール講習 1:スキンドайビング実技(シュノーケルクリア、マスククリア、潜泳、200m水面移動)	○
7	スクーバダイビング	プール講習 2:スクーバダイビング1(セッティング、レギュレータークリア、マスククリア、中性浮力)	○
8	スクーバダイビング	プール講習 3:スクーバダイビング 2(バディブリージング、スイミングアセント)	○

9	スクーバダイビング	プール講習 4:スクーバダイビング 3(器材脱着、各スキルの復習とチェック)	○
10	スクーバダイビング	プール講習 5:スクーバダイビング 4(200m水面移動)	○
11	深度体験	プール講習 6:深度体験と耳抜き、深度プールでのスキルチェック、エントリーとエキジット	○
12	レギュレーター	海洋実習 1:スクーバダイビング1(セッティング、レギュレータークリア、マスククリア、中性浮力)	○
13	スクーバダイビング	海洋実習 2:スクーバダイビング 2(バディブリージング、スイミングアセント)	○
14	スクーバダイビング	海洋実習 3:スクーバダイビング 3(器材脱着)	○
15	スクーバダイビング	海洋実習 4:計画潜水:30 分程度のスクーバダイビング	○

#### 教科書・参考図書

PADI OW教本(実習費8万円程度に含まれる)

#### 準備学習・事後学習

スクーバダイビングのライセンス取得を目指す授業である。ライセンスは2泊3日の海洋実習で4回海に潜水しないと取得できないので、日程や経費に関して十分な準備をしておくことが望ましい。50mの泳力があると安心して受講できるため水泳関係の授業の履修を勧める。

#### 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

学習ノートの内容をふまえた課題解決にむけた指導助言を行う。

#### 成績評価の方法・基準

実技・技能 50%、筆記試験 50%

#### 関連科目

#### 受講上の注意